

図書館が備えるべき学びの支援 機能の明確化

— 学習困難学生(退学予備軍) への支援 —

2009年11月13日

第4分科会 1グループ

沖縄国際大学	岩橋梢
神戸松蔭女子学院大学	加川みどり
高千穂大学	小谷美穂子
東洋大学	下山祐亮
日本工業大学	武井孝
東京家政大学	田中えみ

現状

- 学生の質の低下
- 留年者・退学者の増加
- コミュニケーション能力不足
- 学内のケア不足

なぜ、図書館が？

- 一人にやさしい
 - 一人でも目立たない、居心地が良い
- 既存の発想にとらわれない
 - 図書館の既成概念を打ち破る

目標

- 退学者を減らし、卒業に導く
- 自立した社会人として送り出す

- 第1段階
学習困難学生を図書館に導く



- 第2段階
多くの学生とともに自立した学生に



- 最終段階
自立した社会人として卒業！

第1段階

- 学習困難学生の居場所
 - 「図書館通学」
 - ・ 小中学校の「保健室通学」のようなもの
 - 雑誌やDVDを揃える
 - 個人キャレルを充実
 - 読書を提案
 - ・ 学生にお勧めの図書を紹介することで職員と学生の結びつきを強める

第1段階

- 全学的な情報を提供
 - 学生の質問を無下にしない
 - ・ たとえば、レポートの提出期限を聞かれても、教員との間に入って取り持つ

第1段階

- 図書館サポーター制度の導入
 - 図書館サポーターとして図書館の仕事に関わる
 - 図書館来館のための動機づけのため
 - 人とのコミュニケーションのため

第1段階

- **基礎学習書の充実**
 - シリーズものなど図書館で揃える
 - 教員に基礎学習書リストを配布し、教員のもとに来た学習困難学生に案内する

第1段階

- **学習支援サポーターと連携**
 - 教職志望の学生らに「学習支援サポーター」として登録してもらい、学習困難学生の相談に応じる
 - グループ学習室の提供

第1段階

- **広報**
 - 教員に、学習困難学生がいたら図書館への来館を促してもらう
 - HPなどで全学的に告知
 - 教務課に相談に来た学生に案内
 - 必修科目再履修者に対してパンフレットを成績表と同封

第1段階

- **ICTの活用**
 - パスファインダーの作成
 - ブログの活用
 - ・ 図書館員が図書館の出来事や図書を紹介し、親しみを持ってもらう

次に、多くの学生と
ともに . . .

第2段階

- レポート・論文作成のための
ガイダンスを実施
- 就職課との連携で就活に役立つ
情報を提供

最終段階

- 自立した社会人として卒業！

その後

- 大学全体の評価がUP
- 入学志願者の増加も！？